

## 第32回「緑の環境プラン大賞」ポケット・ガーデン部門 八山田どろんこ保育園が国土交通大臣賞を受賞！

「園庭まるごと ビオトーププロジェクトー人も緑もすべてが育ち合う、次世代の子どもたちと考える SDGs」

社会福祉法人どろんこ会（本社：東京都渋谷区 理事長：安永愛香）が運営する八山田どろんこ保育園（福島県郡山市）は、第32回「緑の環境プラン大賞」ポケット・ガーデン部門において「園庭まるごと ビオトーププロジェクトー人も緑もすべてが育ち合う、次世代の子どもたちと考える SDGs」というプランを提案し、国土交通大臣賞を受賞いたしました。

### 1990年から続く「緑の環境プラン大賞」とは



緑の環境プラン大賞は、公益財団法人都市緑化機構と一般財団法人第一生命財団が主催し、地域の美しい景観を形成すると同時に、人と自然が共生する都市環境の形成に寄与する緑化プラン実現の助成を行っています。

ポケット・ガーデン部門は、日常的な花や緑の活動を通じ、地域コミュニティの活性化や、保育園・幼稚園、学校、福祉施設などでの情操教育、身近な環境の改善などに寄与するアイデアを盛り込んだプランが応募の対象となります。

**第32回となる今回は全国から48点の応募があり、13点が表彰されました。そのうち各部門で1点のみ選ばれる国土交通大臣賞に八山田どろんこ保育園のプランが選ばれました。**

### 国土交通大臣賞を受賞した八山田どろんこ保育園のプラン立案背景と概要



2021年4月に開園したばかりで、まだ真新しい園庭に小さな畑を作ったところ、子どもたちがとても意欲的に畑仕事に取り組むようになりました。その姿を見守ってくださる地域の方とのつながりをさらに深めるため、職員自ら今回のプロジェクトを計画しました。

園庭に畑だけでなく、田んぼ、果樹園を作ることで食育へつなげ、収穫した野菜のくずなどからコンポストを作ることで食の循環や環境への意識を高めます。また、園庭を地域の方々にも開放し、畑仕事を協働で行ったり、収穫物を共に味わう機会を設けることで、憩いの場となるようなコミュニティの形成を目指します。詳しくは参考資料もご覧ください。

なお、2021年11月22日（月）にオンラインで表彰式が行われる予定です。また、今後は保育者と子どもたちだけでなく、保護者の方々、地域の方々のご協力もいただき、来年2022年早春の完成に向け、プロジェクトを進めてまいります。

【本リリースに関するお問い合わせ先】

どろんこ会グループ （東京都渋谷区渋谷 1-2-5 MFPR 渋谷ビル 13F）

広報部 松本 TEL：03-5766-8059 Email：koho@doronko.jp

(参考資料 1)

## 八山田どろんこ保育園について



八山田どろんこ保育園の外観 (左)



地域子育て支援カフェ ちきんえっく (右)

「八山田どろんこ保育園」は 2021 年 4 月に福島県郡山市に開園しました。どろんこ会グループが推進する**障害の有無で子育てを分けないインクルーシブ保育**を実践するため、同じ敷地内・園舎内に、「発達支援つむぎ 八山田ルーム」という児童発達支援事業所を併設しています。さらに施設内には、「地域子育て支援カフェ ちきんえっく」もあり、地域の方であればどなたでもご利用いただける場として開放しています。

所在地：福島県郡山市富田東 4 丁目 90 番

運営時間：保育園 7:00～20:00 発達支援つむぎ 8:30～17:30

定休日：日・祝・年末年始

---

## どろんこ会グループについて



どろんこ会グループ（社会福祉法人どろんこ会、株式会社ゴーエースト、株式会社日本福祉総合研究所、株式会社南魚沼生産組合）は全国 140 箇所を超える認可保育園、事業所内保育所、児童発達支援センター、子育て支援施設等を運営。次代を担う子どもたちの「にんげん力」を育む体験型保育・自然保育を行う。幼児期の性教育や男性保育士比率の高さなど、各種メディアでもその取り組みが紹介されている。

1998 年設立。職員数約 2000 人。利用者数約 7000 人（2021 年 10 月現在）

HP：<https://www.doronko.jp/> Facebook：<https://www.facebook.com/doronkokai/>

Twitter：[@doronko\\_offical](https://twitter.com/doronko_offical) Instagram：[@doronko\\_official/](https://www.instagram.com/doronko_official/)

Youtube：<https://youtu.be/d-SV7YuQmIM>

# 園庭まるごとビオトーププロジェクト

～人も緑もすべてが育ち合う、次世代の子どもたちと考えるSDGs～



## 【果樹の植樹】

柿・りんご・梅・みかんを植樹。  
果樹の森をより身近に感じるように、  
あえて子どもたちに馴染みのある日本の果樹を植える。  
実のなる喜びや不思議さを感じ、そこに来る鳥や虫たちなど  
様々な生きものが共に暮らす楽しさを感じてもらいたい。  
また実りある森、花の香り、風に揺れる樹々の風景は、  
地域の方々の心も癒すものとなっていくと想像します。



## 【つる植物のパーゴラ】

果樹の森への入り口にパーゴラを設置。  
また、森へ続く枕木を使った小道もつくります。  
小道を進み、アーチをくぐる。  
その先には何が待っているのかな。  
子どもの好奇心をかきたてます。

## 【コンポスト】

毎日、昼ごはんを使う野菜の皮むきなどを行うことが  
子どもたちの日課になっています。  
その野菜くずを土と混ぜ肥料をつくる。  
食の循環のすべてに子どもたちが携わることにより、  
食べ物にも命があることを知り「食」の大切さへの気づきへ  
繋がたいと思っています。

## 【畑】

畑を増やし、保護者・地域の方々にも開放。  
畑仕事を協働でおこなうことで、  
保育園・保護者・地域の繋がりを深め、  
保育園がまちづくりの拠点となっていきます。  
住みよいまちづくりがやがて子どもたちの  
育ちにかえてくると考えます。  
ベンチ（プラン予算対象外）を用意して、  
収穫したての野菜を食したり、ひと息つき  
ながら会話が生まれる場をつくります。

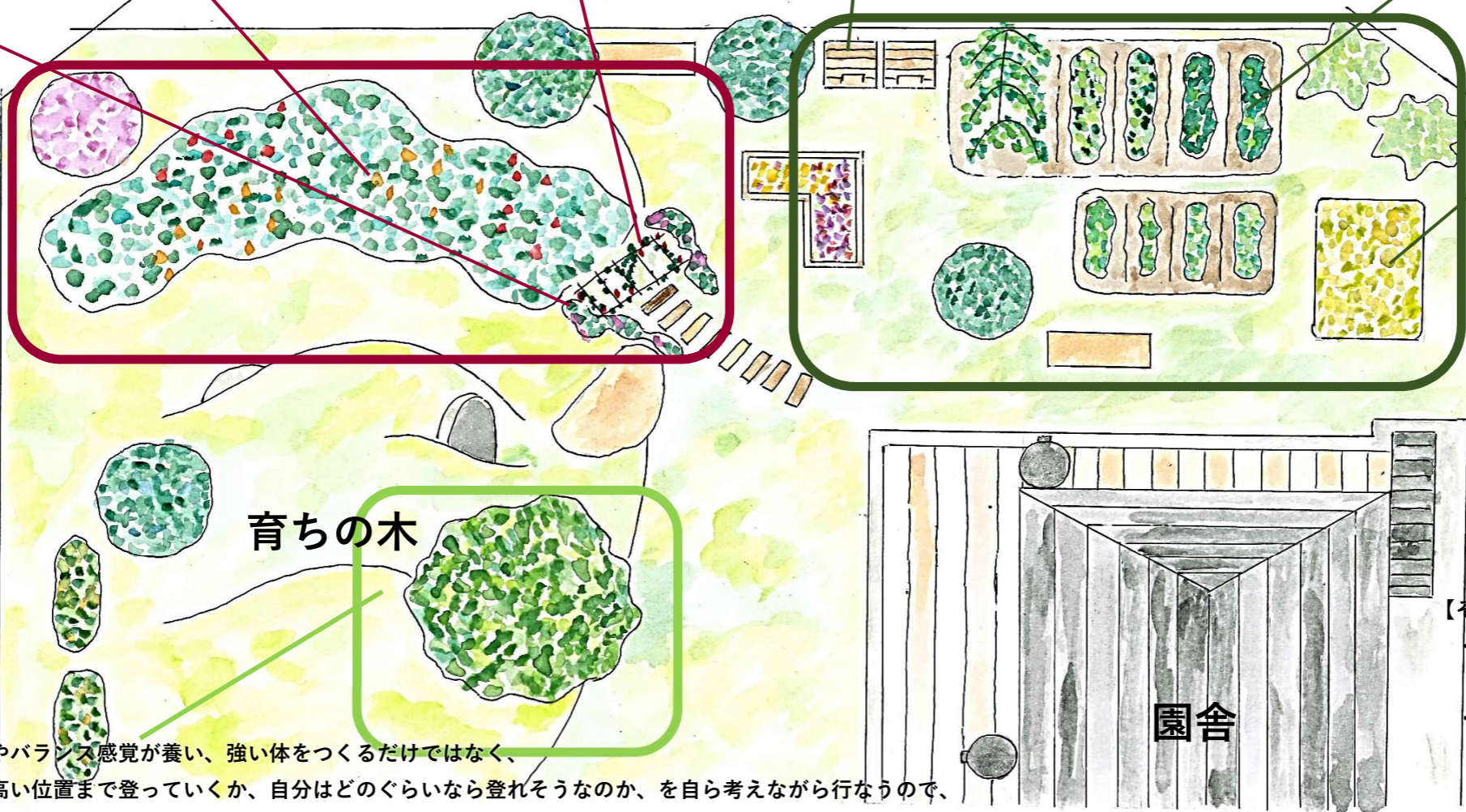
## 【下草たち】

果樹の森には、果樹のほかにも  
様々な草花を植えます。  
観賞用ではなく、四季を感じ、  
子どもたちが自由に遊びの要素と  
して関われる、様々な形の葉・  
花びら・香りのものを選びます。



## 果樹の森

## どろんこ農園と田んぼトープ



## 【田んぼトープ】

田んぼは生き物の宝庫。  
米づくりを経験しながら、  
そこに形成される生き物たちの命の営みにも  
じっくりと関わる。  
そして「人」もその営みの中にあることを  
伝える場として田んぼトープをつくる。



## 【木登りの木】

木登りは子どもの成長に必要な筋肉やバランス感覚が養い、強い体をつくるだけでなく、  
次はどの枝に手をかけ、どうやって高い位置まで登っていくか、自分はどのくらいなら登れそうなのか、を自ら考えながら行なうので、  
自分で状況判断できる力も身につきます。  
そして何より、自分の手足で高いところまで登ってきたという達成感を味わえ、自分に自信が持てるようになる効果があります。

## 【その他】

- ・自然の恵み「雨」を再利用する『雨水タンク』を設置（プラン予算対象外）
- ・レイズドベットを作成（プラン予算対象外）
- あらゆる人たちが花や野菜を楽しみ、集っていただけます。
- ・果樹の森の奥には、ソメイヨシノ（既に植樹済み）があり、春には森の奥に桜が咲いている、という仕掛けです。「和の心」を大切にします。

子どもと一緒に。

園庭からのSDGs。



## 【循環と共生】

コンポストは野菜くずだけでなく、木々の落ち葉も土の栄養に変えてくれます。  
虫たちは受粉を手伝い、果樹の実を食べに来た鳥の糞は思わぬプレゼントも  
もたらしてくれることも。園庭は人だけのものではなく、すべての生き物が支え合い、  
共に暮らしていることを感じとれる場となります。

社会福祉法人どろんこ会

八山田どろんこ保育園

Doronko

子育てから世界は変わる。